

令和3年
スキルアップ講座
(オンライン授業等) について

研究副主任・情報主任
森澤 貴之

目次

- ①本校の学習者用端末について
- ②本校のICTを活用した学びについて
- ③ICTを活用した実践について

①本校の学習者用端末について

本校のICT環境について（GIGAスクール構想導入端末）

導入された学習者用端末一式について

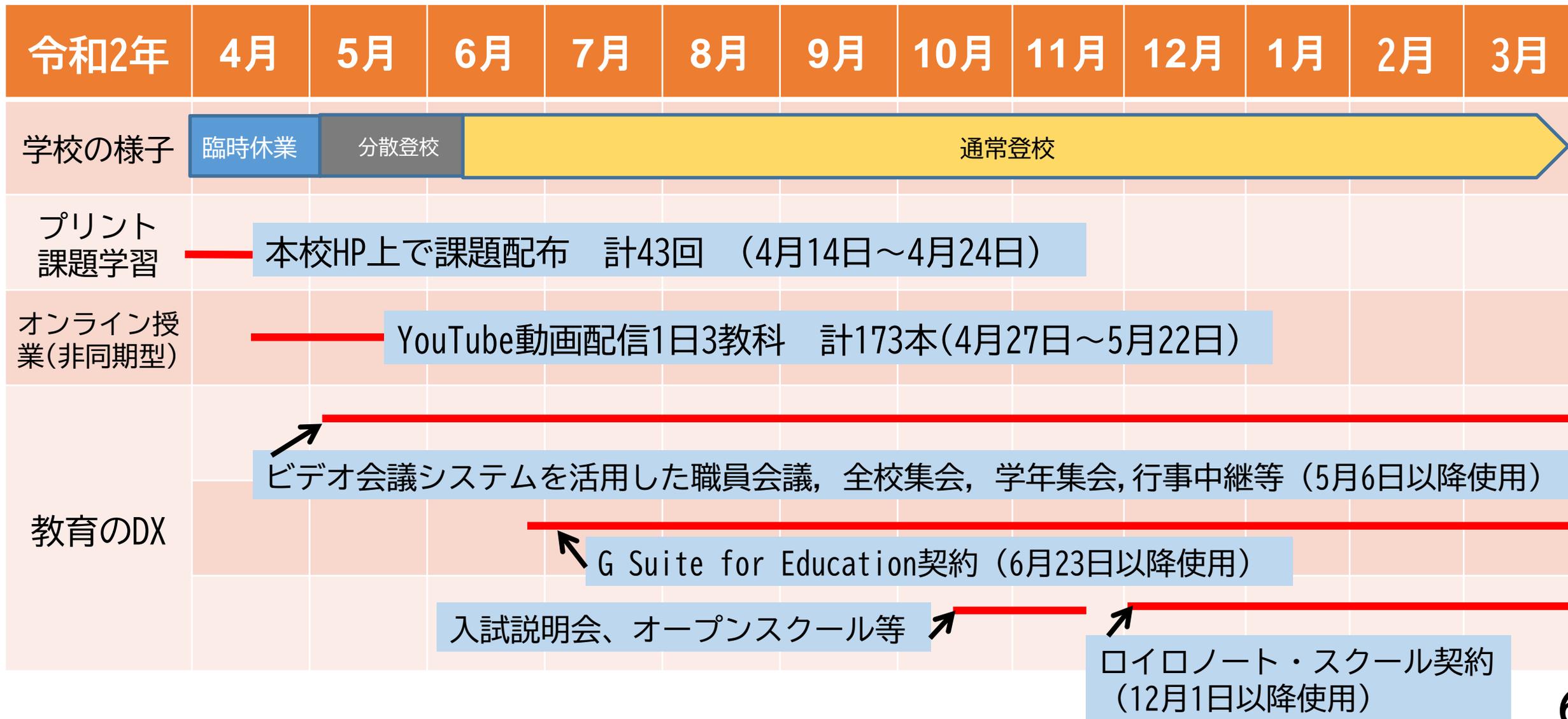
品名	型番	メーカー
iPad（第8世代）	MYLA2J/A	Apple社
Appleペンシル（第1世代）	MK0C2JA	Apple社
Lightning KANA-JIS Keyboard	KB-LT-KANA-JIS	Links INTERNATIONAL
Apple Pencil収納ポケット付きケース	PDA-IPAD1614BK	SANWA SUPPLY社
強化ガラスフィルム	LCD-IPAD102G	SANWA SUPPLY社

iPad端末導入理由

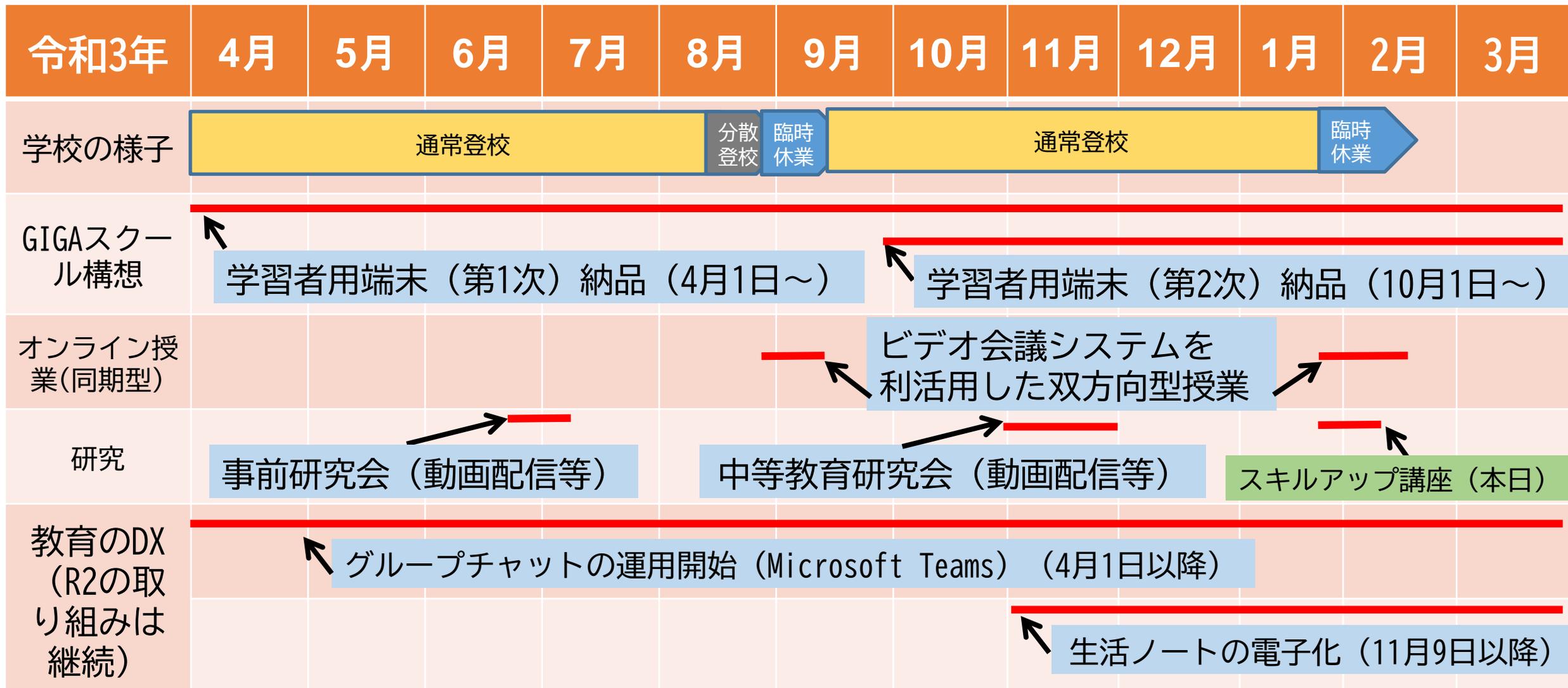
- ① 県の内外を問わず多くの教育機関での導入実績があること
- ② 本校所有のiPadがあり、授業等での使用実績があること
- ③ 附属小学校でもiPadの使用実績があり、小中連携を考えたときにもその接続がスムーズであること

②本校のICTを活用した学びについて

これまでの本校のICTを活用した取り組みの様子 (R2)



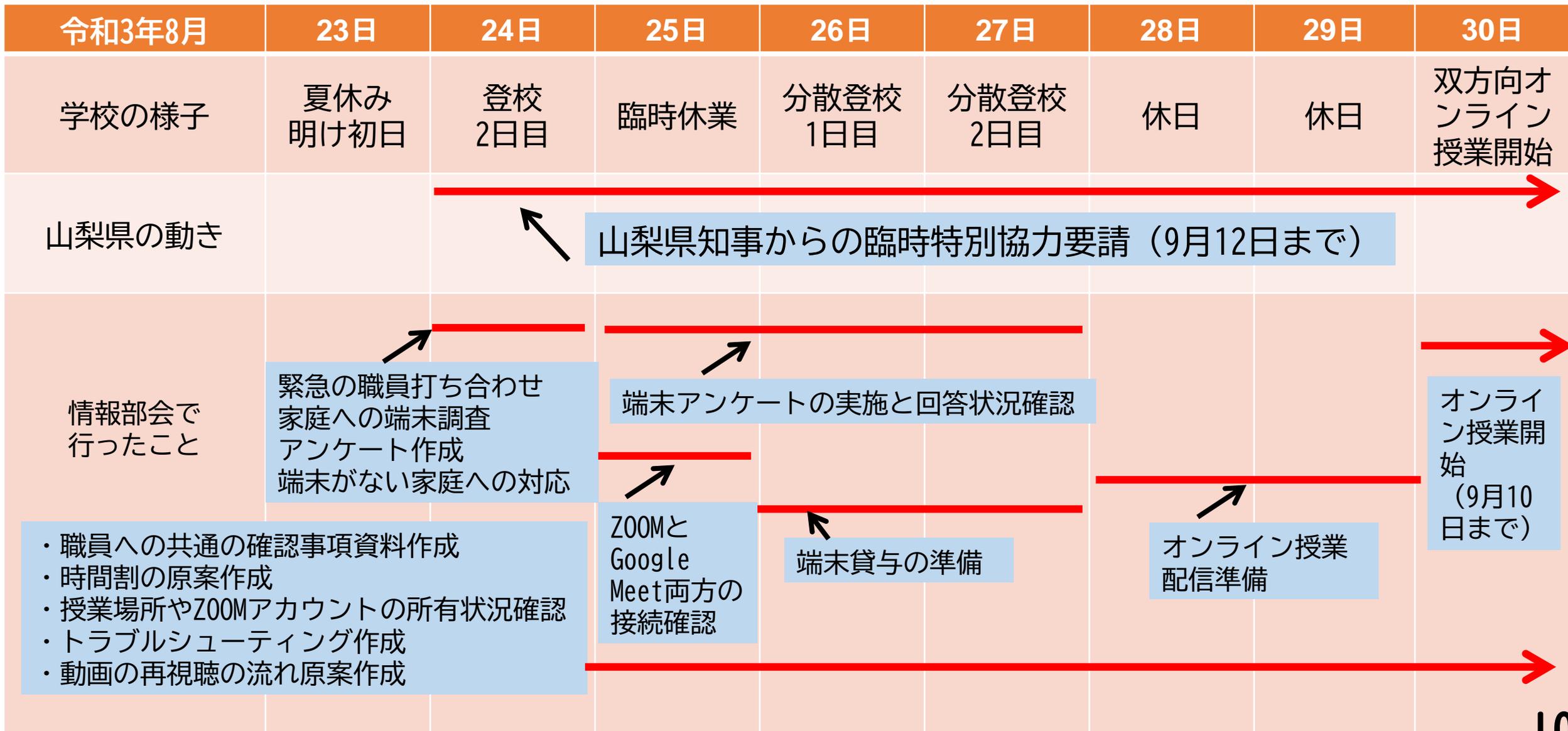
これまでの本校のICTを活用した取り組みの様子 (R3)



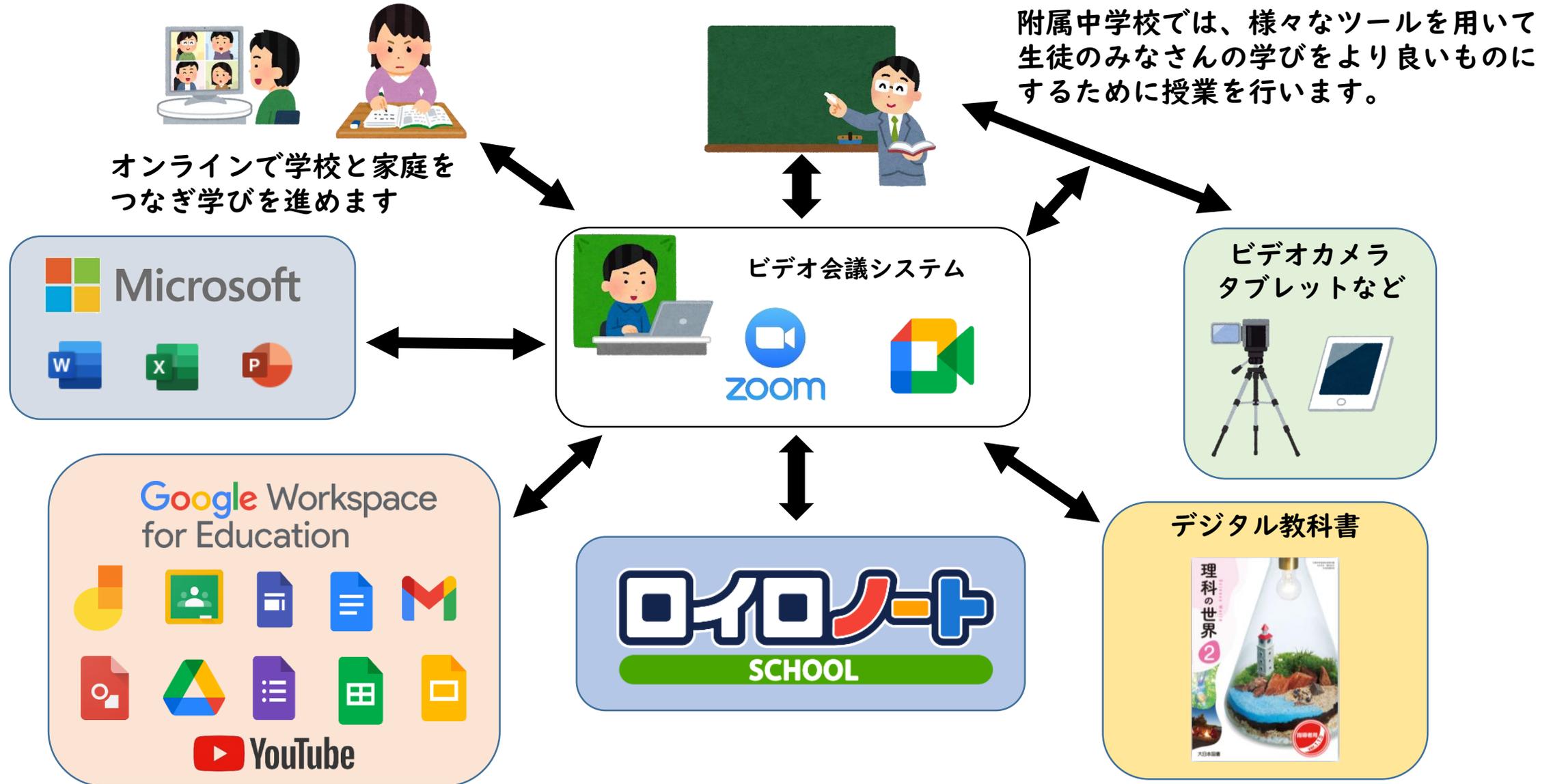
③ICTを活用した実践について

③-1 オンライン授業の実施計画

オンライン授業（同期型）の実施に向けて

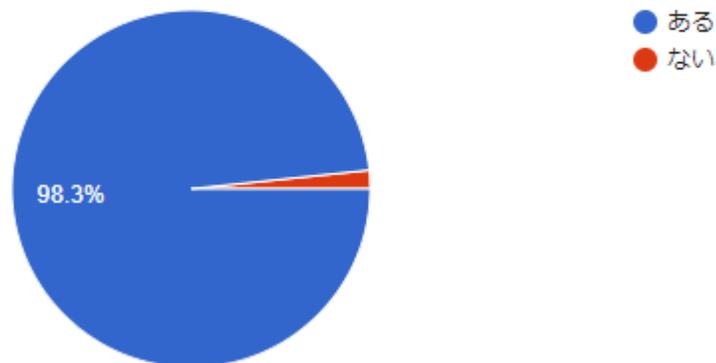


本校のオンライン授業（同期型）の全体像

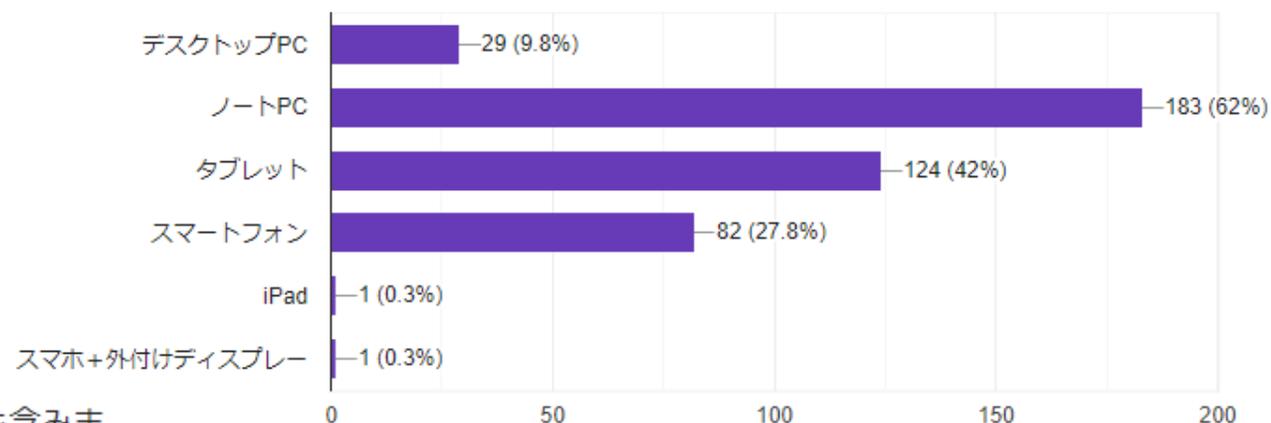


オンライン授業実施に向けて事前アンケートの実施（保護者）

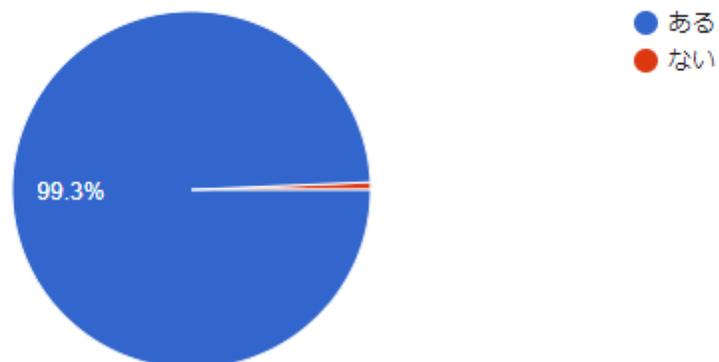
昼間にお子様オンライン授業に参加するために使用できる端末はありますか？



オンライン授業を受けるに当たり、どの端末を使用されますか。当てはまるものにチェックをつけてください（複数回答可）。



オンライン授業で使用する端末にwebカメラはありますか？（ノートPC内蔵のものも含みます。スマホ・タブレットにも小さい穴で内蔵されている場合があります）



各家庭で利用可能な端末の状況を把握するアンケートを行った（2, 3年生対象）
※1年生はGIGA端末配備済

生徒への端末の貸与について

本校所有のChromebook40台およびWebカメラを生徒へ貸与

令和3年度

山梨大学教育学部附属中学校
校長 志村 結美 殿

貸与品取扱い誓約書

私は、以下貸与品を下記の事項を厳守して使用することを誓います。

貸与品

1. Chromebook 1台 番
2. ACアダプター

記

1. 貸与期間中は自己の責任で管理する。
2. 紛失や破損した場合は、速やかに報告する。
3. 学習目的以外に使用しない。
4. 自己の重大な過失や故意により、貸与品に損害を与えた場合、それを弁償する。
5. 貸与期間は休校期間中（令和3年8月26日～）とする。
6. 不要となったらすぐに返却する。

令和 年 月 日

年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

指導内容

①誓約書の配布

②端末使用上の注意

③ZOOMへのログイン方法の確認

※各学年の情報担当が指導を行った

生徒への事前指導について

山梨大学教育学部附属中学校

2021年8月26日・27日

オンライン授業を始めるにあたり

1. オンライン授業について

インターネットを通して、離れた場所で行う授業の形です。生徒は家庭に、先生は学校にいながら、学習を進めていくことができます。事前に動画を見て学習する形態や、先生に質問しながら学習する形態など、様々な形があります。

2. オンライン授業における一日の流れ

8:30 朝の会

クラス毎に、朝の短学活を行います。健康状態や本日の流れを確認する時間となります。

9:00～ 授業

時間割通りに、Zoom もしくは Google Meet で授業担当の先生の授業に参加します。Classroom での課題提出などは、先生の指示に従います。

15:00～ 帰りの会

その日の授業が全て終了したら、クラス毎に帰りの短学活を行います。次の日や次週の予定等を確認します。

3. オンライン授業を受ける際の決まり

- ・オンライン授業を受ける際は、制服を着用するようにしましょう。
- ・背景には何も映らないように配慮しましょう。
- ・指示があるとき以外は、カメラは ON、マイクは OFF するようにしましょう。

- ・登校できなくても、先生やクラスメートと支え合いましょう。
- ・離れていても、分からないことは積極的に質問しましょう。
- ・Classroom またはメールで届く連絡を必ず確認しましょう。
- ・健康第一です。体調管理を徹底しましょう。
- ・コロナに負けないように、感染リスクを抑えた行動をとるようにしましょう。



分散登校時に生徒へ
資料を配付しながら、
1日の流れについての
話をした

③-2 オンライン授業の実施

オンライン授業 時程表

朝の会 (8:30～8:50)

1校時 (9:00～9:45)

2校時 (10:00～10:45)

3校時 (11:00～11:45)

4校時 (12:00～12:45)

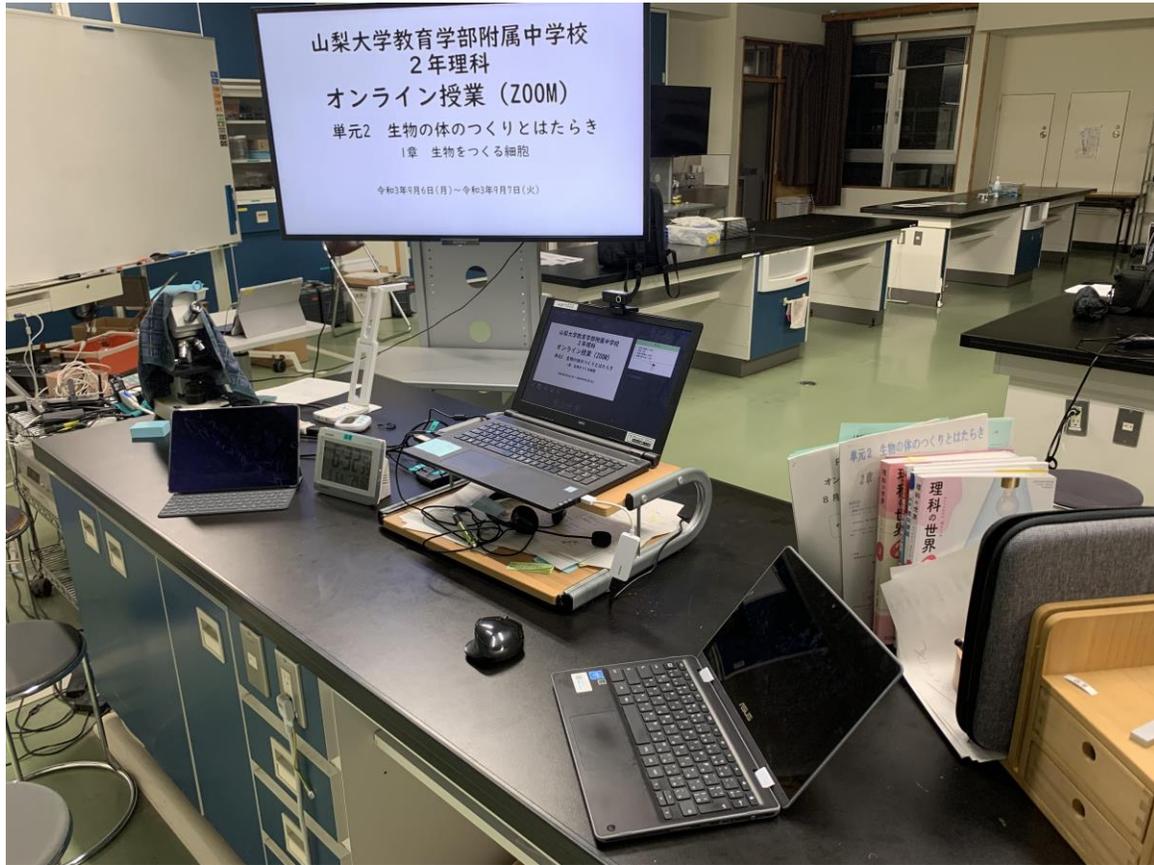
昼食・授業準備 (12:50～13:50)

5校時 (14:00～14:45)

帰りの会 (14:50～15:10)

文部科学省より出されているGIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末の積極的な利活用等について
(通知)別添資料2の内容を参考にして本校独自の時間割を設定した

配信の際の様子①



特別教室と普通教室を会場として、教員が授業の配信を行った。

授業配信の際の様子② (ZOOM)



今日の目標

8月31日 (火) 天気

生物の体をつくっているものについて学ぶ

みなさんもノートに今日の日付と天気、今日の目標を書きましょう。



肩こりを改善する
肩まわり&肩甲骨マッサージ

肩甲骨マッサージ

目の疲れを取るマッサージ動画
限定公開 Takayuki Morisawa - 5/9

- 1:00 tashomovie 疲れに効くコラム『目の疲れを改善するマッサージ』...
- 1:00 tashomovie 疲れに効くコラム『首の横のストレッチ』powered by リポ...
- 1:30 tashomovie 疲れに効くコラム『肩甲骨マッサージ』powered by リポ...
- 1:33 tashomovie 疲れに効くコラム『跳回し』powered by リポ...
- 1:24 tashomovie 疲れに効くコラム『肩甲骨ストレッチ』powered by リポ...
- 1:02 tashomovie 疲れに効くコラム『肩甲骨...

専門家2名がネイティブチェック
メール対応は24時間対応年中無休。
手厚いサポートで、ジャーナル掲載
をご支援します

enago
Author First, Quality First
enago.jp

結果一覧

植物細胞のつくり	動物細胞のつくり	植物細胞と動物細胞のつくり

植物の細胞と動物の細胞

細胞の中のいろいろなつくり

植物細胞のつくり

動物細胞のつくり

植物細胞と動物細胞のつくり

細胞は、丸い形や角形などいろいろな形をしています。また、大きさもさまざまです。植物細胞は、細胞壁と大きな中央液胞があり、葉緑体で光合成を行います。動物細胞は、細胞壁がなく、中央液胞がなく、ミトコンドリアでエネルギーを生み出します。

生物をつくる細胞

動物も植物も、細胞とよばれる小さな単位が集まって体がつくられている。細胞のつくりは、動物と植物とで大きく異なる。動物は、ほとんどが動物で、植物以外の部分も細胞膜も厚く、細胞壁がある。植物の細胞は、細胞壁と大きな中央液胞があり、葉緑体で光合成を行います。動物細胞は、細胞壁がなく、中央液胞がなく、ミトコンドリアでエネルギーを生み出します。

各教科で工夫を凝らしたオンライン授業を行いました

③-3 オンライン授業の成果と課題

オンライン授業の事後アンケートを実施（全生徒対象）

- ・ 日時：10月11日（月）～10月13日（水）の3日間
- ・ 対象：附属中学校全校生徒（432名）
- ・ 方法：Google社が提供するアンケート作成・管理ソフトウェアである Google フォームを用いた

「臨時休校中のビデオ会議を利活用したオンライン授業の取り組みおよびオンライン授業全般についてのアンケート」を実施した。

オンライン授業アンケートの総括（成果）

- ①休校中の同時双方向型の授業は学びを保障する上で生徒のニーズが高い
→今後も同様の事態に陥ったときに学校としても答えていく必要がある
- ②健康面で困ったことがなかったと回答した生徒の割合が多かった
→文部科学省のガイドラインに則った時間割編成を考えたため、無理のないものであったと考えられる
- ③授業の質は、対面の時と大きく違いが無いと回答した生徒の割合が多かった
→教職員の努力が評価された

オンライン授業アンケートの総括（課題）

①どこまで学習保障をするのか？

→普段の学校を欠席したときとオンライン授業を欠席したときの対応についての整合性の難しさ（今回は再視聴の申請者のみに対応）

②生徒の健康面への影響

→適宜休憩や目の運動をするなど配慮をして授業を行ったが、特に「目」の疲労を感じた生徒は多かった。

③生徒の心の面のケア

→機材トラブルなどの面や友達に会えないといった面でストレスを感じている様子が明らかとなった

オンライン授業アンケートの総括（その他）

- ①アフターコロナの学びの形態として、多くの生徒が毎日登校して全員が対面の形式で学ぶ形を求めている
- ②多くの生徒がオンライン授業でも2～6時間共に過ごすと、同じ学校やクラスにいる感覚が得られることが明らかとなった
- ③臨時休校中も多くの生徒は学校の勉強以外の活動にも積極的に取り組んでいた

オンライン授業アンケートの総括（今後の展望）

①生徒の学びの保障（対面とオンライン）の望ましいあり方について考える

→一人一台端末が導入され、欠席生徒へのノート資料の配付等がこれまでよりも容易になった。また、家庭での学習にも生かせるような授業支援について考える。

②非常変災時における望ましい学びの方法の更なる検討

→生徒自身が学びの形態を自由に選択できるように、個別最適な学びのあるべき姿について考える

ご清聴ありがとうございました